

工業蒲田

所 3番地50
 行 1組合
 所 2同人會
 4 1委員
 丁 2部
 田 7發
 蒲 業及
 区 (732) 編
 大 田工 紙
 都 電 編
 京 蒲 機
 東 都 石
 株 式 印
 會 社 東
 社 東
 新 大
 輝 橋
 堂 印
 所

これからの中小企業経営

中小企業金融公庫總裁 渡辺佳英

景況の立直りをあてにするな

非常な不況で、皆さん方それぞれに企業の経営に苦心され、その苦勞たるや並大抵のこととはな

いとお情願もあてはけません。しかしに、調子のよい企業もありまして、中には、創業以来の成長の方向にお進みしていますが、私

と申し上げても、私は毎日何人かの方に逢いしていますが、私

「お蔭様まで」とか、という話の繊維、テレビ、音響関係の電機



「これからの中小企業経営」渡辺佳英氏

機械、カー、食料品の一部、或る景況がよくなるとすれば、自分の

引下げなどと言って置つては困

「組合員だより」

現在の不況状況

昨年九月の中間決算で、大半の

この三月の決算も、昨年九月の

大蔵省が国会に提出した中期財政

目次

- 「これからの中小企業経営」
- 中小企業金融公庫 總裁 渡辺 佳英
- 「掲示板」 土地の評価額が 変更しました
- テレビ 東京の中小企業
- 「図書館だより」
- 「組合員だより」
- 「業務報告」

(前頁より)
れ金額が、十一月、十二月は大し
たことがなかったのですが、この
一月になって、前月比一七・五%
増え、輸出は伸び始めてい
ると言えます。

しかし、伸びたと言ってもひと
頃のようなことばなく、五十一年
度の輸出の伸びは二・三・一%と経
済の見通しに出ています。過去
十年の輸出の伸びの平均が三・
二四%という数字ですから、ひと
頃のような勢いはないわけでは
ないかと思えます。

設備投資は、これは皆さんのお
仕事に関係が深いのではないかと
思いますが、五十年度は前年度に
比べて五・四%減となっていま
す。五十一年度は対前年度比七%
増という見通しになっていま
す。実際にそんなに設備投資が増
えるのかと申しますと、企業が投
資する力を失っているような時
に、七%の増というのは、なかな
かむづかしいのではないかと思
います。

そこで政府では、電力会社の設
備投資をできるだけ繰上げて、五
十一年度と三兆円くらい投資して
その七%を確保しようとするとい
ますが、笛吹けとも踊らさずとい
う格好で、設備投資ははかばかし
ないのではないかと思えます。

次に個人消費ですが、冷え込ん
でいると言いつても、マイナスにな
っているわけではありませぬ。五
十年度も四・五%増えているので
す。ただ、盛り上がりがあるとい
うのは、毎年一〇%くらい伸びないと、景
気を支える力にはならないです。

(一)で注意申上げたのは、
皆さんも承知のことと思えます
が、個人消費の内容が大分変わっ

きているということですが、だから
たとえ景気がよくなったとしても
前と同じような内容、個人消費が
伸びると考えられますと、大きな
間違いではないかと思えます。

例えば、一番わかり易い例を申
上げますと、ボウリングは一昨
一ムになりましたが、今ではどの
ボウリング場も閑古鳥が鳴いてい
ます。しかも、マクロの景気がよ
くなったからといって、ボウリ
ングチームが復活するとは考えら
れません。

それと同じようなことが、個人
消費の各面にあらわれてくるので
はないかと思えます。したがって
個人消費が仮りに回復してきても
自分のとろの商品が売れるよう
になるとは限らない、そのへん
のところを十分考えなくてはなら
ないのではないかと思えます。

ただ、最近になって、商品相場
が或る程度上がってきたものもあ
ります。

例えば、鋼材はこの一月の前半
までは非常に悲観的でしたが、後
半になって需要が強くなり、相場
も上がってきました。これが果し
て実需があつて高くなつてきたの
か、問屋さんの仮需であるのかと
いうことで、当面は非常に疑問に
思つたのですが、相当な実需が動
いているというのがこの頃の皆さ
んのご意見で、鋼材とか、木材と
か、セメントなどが一斉に値段が
ないか、という気がします。

四期連続赤字を重ねながら景気
の回復を待っていたのに、さうい
つまでもよくなるまいというこ
とになると、息切れてきて企業は
持たない、と言われるのはよくわ
かるのですが、今までもつた財

強なつてきています。しかも、
これらの商品相場は世界的にも強
くなつてきています。

以上、さういつたものを総合的
に考えてみますと、景気はまだ一
向によくなつてきてはいないが、
更に落ち込むとはならないであ
らう。景気は急回復は回復する
ことなく、モタモタした状態がま
だ当分続くであろう、と判断さ
れます。

したがって、景気がよくなるの
を待っているのは、実はアタナ望
みなのではないか、少くとも当分
の間はさういふ気がします。

永野重雄さんが、今年の正月の
テレビで、小さな舟だと船をきれ
はすべ方向転換ができるが、一〇
万トンや二〇万トンの大きなタン
カだと、船がきいてくるのに時
間がかかる。日本経済もさう大き
くならず、政府が不況対
策をやつた日銀が公定歩合を下
けても、すぐには効果があらわれ
ない、効果があらわれるのは今年
の後半だろう、というつたこと
半になって需要が強くなり、相場
も上がってきました。これが果し
て実需があつて高くなつてきたの
か、問屋さんの仮需であるのかと
いうことで、当面は非常に疑問に
思つたのですが、相当な実需が動
いているというのがこの頃の皆さ
んのご意見で、鋼材とか、木材と
か、セメントなどが一斉に値段が
ないか、という気がします。

もなかなか売れませんが売れたと
思はれ、そこに相当なキャピタル
ゲインがあり、インフレ利得があ
つたということが言えます。

それから、四十八年の暮から四
十九年の始めにかけて狂乱物価が
あつて、大なり小なり企業に蓄積
ができたということもありまし
ょう。また、大きな会社では、当時
株価が高かつたので、時価発行増
らわれる年だと思えます。



と申しますか、やりよつたによつて
切り抜けるより仕方がないと思つ
たということがあります。

今年は辰年ですが、辰には雲を
得て天に昇る昇竜と、地にひそん
でいる潜竜や、地にわかまつて
あつて、大なり小なり企業に蓄積
ができたということもありまし
ょう。また、大きな会社では、当時
株価が高かつたので、時価発行増
らわれる年だと思えます。

問題は、業績が悪く払えない
企業、或いは将来を考えるとどう
しても重荷になるという企業にま
で、無理に高いベースアップを出
させるというところに、問題があ
ります。

昇竜の企業はお出しになつたら
よいと思えます。従業員の収入が
増え、また一方、会社の将来につ
いて心配はないのですから、それ
が個人消費を盛り上げることに
なるという間違ひありません。

しかし、業績の悪い企業がそれ
を真似て高いベースアップをする
必要は少しもありません。春闘相
場という一つの相場を考ふるの
は、話が横に外れましたが、昇竜の
入前の企業にすることができると
企業はこの機会に大いに事業活動
を活発にして、GNPも上げて貰
いたいし、国や地方公共団体の歳
入欠陥を直すのに貢献して貰いた
いし、それから、個人消費が増え
るのにも貢献して貰いたいと思つ
ています。問題は、それほどよく
ない企業と申しますか、潜竜、蟻
竜の企業はどうしたらよいかとい
うことです。

私も、一昨年の暮までの二十二
年間、東洋バルブという紙バルブ
の会社を経営してきたのですが、
紙バルブというものは非常に苦し
う。だが、頑張つてやつておられ

間違いです。ミクロに考え、バ
ラバラでよいのです。

確かに、昔は、他より自分のと
ころの賃金が低いと、人を採用す
ることができないのではないかと
かかると、という心配もありまし
たが、今の雇用情勢ではさういふ
心配は余りありません。

むしろ、自分のところの従業員
に会社の実情をよく話されて、
「俺のところは出たくても出せ
ない。もし、これ以上のベースア
ップをすれば会社は人員整理をし
なくてはならないし或いは会社自
体が整理に追い込まれるかもしれ
ない。さうなつたら、元も手もな
くなつてしまふ、だから我慢して
くれ」という程度の話をされて、
業の下請は、それに応じて上がり
下がりますと思ひますが、しかし、
大概の中規模以下の企業は、そん
な全体のマーケットには関係がな
く、自分のマーケットがある営
業です。自分のマーケットがよけれ
ば、全体が悪くても企業は案をま
すし、全体がよくなつても自分の
マーケットが悪ければ、一向によ
くならないといつたことですから、
マクロの数字とか、国の力だとか、
他人の力だとか、さういつたもの
を当てにせず、自分で自分のマ
ケットを見極めて、企業をうまく
あやつつていくより仕方がないの
です。これが一番大切なことです。
それと同時に、一体、自分の企
業はどこに欠点があるのか、を考
えてみる必要があります。

よく、高付加価値の製品を狙え
ばよい、と言いますが、口で言つ
ては簡単なものではないといつた
のは皆さんも承知の通りですが、
付加価値の分配率を見ますと、そ
れでなんといいても大きいのが
人件費で、昔は四〇%くらいでし

たか、頑張つてやつておられ

各企業にみあった ベースアップを

不況 対策

(前頁より)

たが今は五六割ぐらに上がって... 借金を返してしまふのがほんとう... 借金を返してしまふのがほんとう... 借金を返してしまふのがほんとう...

人件費を減らすにはどうしたら... 人員整理といふことを簡単に言っ... 人員整理といふことを簡単に言っ... 人員整理といふことを簡単に言っ...

首を切らないうちで労働者はた... だ、成績のよくない企業が、ペー... だ、成績のよくない企業が、ペー... だ、成績のよくない企業が、ペー...

代り人員整理はできるだけしな... で雇用は確保するといふのが日... で雇用は確保するといふのが日... で雇用は確保するといふのが日...

次に、金利を下げるにはどうし... たらよいか、といふことですが、... たらよいか、といふことですが、... たらよいか、といふことですが、...

しかし、もし、不実財産を処分... して借金を返せるといふ企業があ... して借金を返せるといふ企業があ... して借金を返せるといふ企業があ...

された方がよいと思ひます。流動... 比率を上げるためだと思ひいま... 比率を上げるためだと思ひいま... 比率を上げるためだと思ひいま...

その他に、金融機関に話をし... 所謂歩積み両立は表面きはない... 所謂歩積み両立は表面きはない... 所謂歩積み両立は表面きはない...

借りにいるところがあれば低利の... 金に借り換えるとか、努力しなけ... 金に借り換えるとか、努力しなけ... 金に借り換えるとか、努力しなけ...

勿論、製品価格を下げて付加価... 値を高めるという手があります。... 値を高めるという手があります。... 値を高めるという手があります。...

これは一番利くわけですが、石油... 価格が四倍半に上がったにも拘ら... 価格が四倍半に上がったにも拘ら... 価格が四倍半に上がったにも拘ら...

インフレを押えなくてはならない... というので、価格を上げるには... というので、価格を上げるには... というので、価格を上げるには...

品が、卸物価に属するものであれ... うのです。そういう努力をした上... うのです。そういう努力をした上... うのです。そういう努力をした上...

生き残れる企業に

ますと、年利八分九厘で、三年... 四年、七年と、長期に亘つて用... 四年、七年と、長期に亘つて用... 四年、七年と、長期に亘つて用...

要は、人件費と金融費用とを... できるだけ減らすことを、常に標的... できるだけ減らすことを、常に標的... できるだけ減らすことを、常に標的...

ば、消費者物価に余り影響を与... えずに値上げも或る程度可能では... えずに値上げも或る程度可能では... えずに値上げも或る程度可能では...

このようにして、工場内ではコ... ストの引下げに努力されるとも... ストの引下げに努力されるとも... ストの引下げに努力されるとも...

外では販売に懸命の努力をさ... せることが必要で、さきほど甲上... せることが必要で、さきほど甲上... せることが必要で、さきほど甲上...

分のところが倒れれば、自... という負けは生き残れるのだ... という負けは生き残れるのだ... という負けは生き残れるのだ...

味なのです。... 味なのです。... 味なのです。... 味なのです。...

中小企業の経営者は、経営のす... 通ると思ひます。そういう努力を... 通ると思ひます。そういう努力を... 通ると思ひます。そういう努力を...

そして、理想的に言へば、現在が... 七割の操業率なら、それでトント... 七割の操業率なら、それでトント... 七割の操業率なら、それでトント...

なかなかに、いかに思ひ... ますが、一歩でもそれに近づいた... ますが、一歩でもそれに近づいた... ますが、一歩でもそれに近づいた...

このようにして、工場内ではコ... ストの引下げに努力されるとも... ストの引下げに努力されるとも... ストの引下げに努力されるとも...

外では販売に懸命の努力をさ... せることが必要で、さきほど甲上... せることが必要で、さきほど甲上... せることが必要で、さきほど甲上...

分のところが倒れれば、自... という負けは生き残れるのだ... という負けは生き残れるのだ... という負けは生き残れるのだ...

味なのです。... 味なのです。... 味なのです。... 味なのです。...



東京の中小企業

東京都経済局提供で、東京都中... 小企業団体中央会が企画して、毎... 小企業団体中央会が企画して、毎... 小企業団体中央会が企画して、毎...

東京十二チャネルで、一東京の... 中小企業」が放映されています。... 中小企業」が放映されています。... 中小企業」が放映されています。...

共同配送を考ふる(四月十二日)... アイディアが全うといわれ... アイディアが全うといわれ... アイディアが全うといわれ...

収益力を増加するためには、... 高収益機会に伴う高危険を減殺... 高収益機会に伴う高危険を減殺... 高収益機会に伴う高危険を減殺...

話題と展望(五月二日)... 低成長下の新経営戦略(五月九... 低成長下の新経営戦略(五月九... 低成長下の新経営戦略(五月九...

木材業界の新天地(五月十六日)... 今、消費者は(五月二十三日)... 今、消費者は(五月二十三日)... 今、消費者は(五月二十三日)...

お尋ねに答えて(五月三十日)... 東京都の試験研究機関、相談... 東京都の試験研究機関、相談... 東京都の試験研究機関、相談...

話題と展望(六月六日)... 産業分野を考ふる(六月十三日)... 産業分野を考ふる(六月十三日)... 産業分野を考ふる(六月十三日)...

野を確保するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整...

野を確保するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整...

野を確保するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整...

野を確保するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整... するの、分野を調整...



図書室

左記の図書が新しく入りまし... のでお知らせします。... のでお知らせします。... のでお知らせします。...

中小企業の事業転換を迫る要... 因は増大しつつあるが、事業転... 因は増大しつつあるが、事業転... 因は増大しつつあるが、事業転...

今年、三年に一度の評価替え... の年に当りますので、固定資産課... の年に当りますので、固定資産課... の年に当りますので、固定資産課...

縦覧できる方は、固定資産の所... 有者及びその関係者です。... 有者及びその関係者です。... 有者及びその関係者です。...

詳細は大田都税務事務所へお問... 合わせ下さい。(七三三局、四一... 合わせ下さい。(七三三局、四一... 合わせ下さい。(七三三局、四一...

者事業団による施策の概要。... 東京都労働局編... 東京都労働局編... 東京都労働局編...

「労働時報」... 五一年卒者初任給相場はど... 五一年卒者初任給相場はど... 五一年卒者初任給相場はど...

「私の国防白書」... 全国中小企業団体中央... 全国中小企業団体中央... 全国中小企業団体中央...

業 務 報 告

二月 商業手形割引取扱高
二八、九五〇、六二四円

二月 共同購入業務取扱高
六、〇八五、八九六円

二月三日 節税教室(東京都中小企業経営者協会主催)

二月四日 節税教室

二月四日 定例経営サロン(青年部会)

主な話題
1、青年部会の活動について
2、受注動向情報交換
(なお、内容については事務局にお尋ね下さい。)

二月五日 節税教室
二月六日 新春初顔合わせ麻痺大会(蒲田工業協同組合・同青年部会・蒲田同好クラブ共催)
入賞者左の通り。
優勝 天野氏(愛国鍛冶)
優優等 赤井(弘)氏(赤井製作所)

「現代の国防を考える」海原治氏



「戦後の日本人が得たもの失ったもの」高瀬広居氏



合

飛賞 大久保氏(清川製作所)
島海氏(島海製作所)
井上氏(江崎工業)
加藤(博)氏(サカエリユウ)

B B賞 関屋(知一)氏(関屋黨)

敢斗賞 市川氏(日本中空鋼)
赤井(敏)氏(赤井製作所)

所 関屋(知康)氏(関屋黨)

富田氏(日伸製作所)
石森氏(東電舎)
小倉氏(日本中空鋼)
加藤(隆)氏(サカエリユウ)

の件
原案通り次年度に繰越すことに決定。
④昭和五十一年度事業計画案承認の件
原案通り承認可決。
⑤昭和五十一年度収支予算案承認の件
原案通り承認可決。
⑥任期満了に伴う役員改選の件
左の通り決定。
幹事(二五名)(五十音順)
赤井弘志氏(赤井製作所)
石森憲蔵氏(東電舎)
浦 英司氏(深尾電線)
大谷方統氏(大谷造機所)
加藤進弘氏(日本チェーンキャ)

中山 致氏(中山電機工芸社)
蛭田正司氏(蛭田電機)
監査(二名)(五十音順)
坂口精治氏(坂口精密工業)
竹中 稔氏(竹中機械)

二月十二日 幹事会(青年部会)
①部長、副部長互選の件
互選の結果、左の通り決定。
部長 石森憲蔵氏(東電舎)
副部長 赤井弘志氏(赤井製作所)
赤井弘志氏(赤井製作所)
杉谷順弘氏(杉谷金属工業)
島海保男氏(島海製作所)

①相談役推せんもの件
相談役に左の二名の方をお願いすることに決定。(五十音順)
佐藤精一氏(前部長)
長坂基秀氏(元部長)

③工連青年部委員推せんもの件
石森部会長、赤井副部長に工連青年部委員をお願いすることに決定。
二月十二日 懇談親会(青年部会)
二月十二日 「東京都における中講」 経営管理研究所

小企業の貸金事情、「年末一時金要求状況」を配付。
二月十六日 「労務実態調査結果」、二下請取引の適正化について通達、「不払貸金救済制度」について通知。
二月十七日 アーク溶接特別技術講座
二月十八日 アーク溶接特別技術講座
二月十九日 労働問題セミナー(中経協・中央会主催)
二月二十日 労働問題セミナー(中経協・中央会主催)
二月二十日 「戦後日本が得たもの失ったもの」
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

議 決

二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

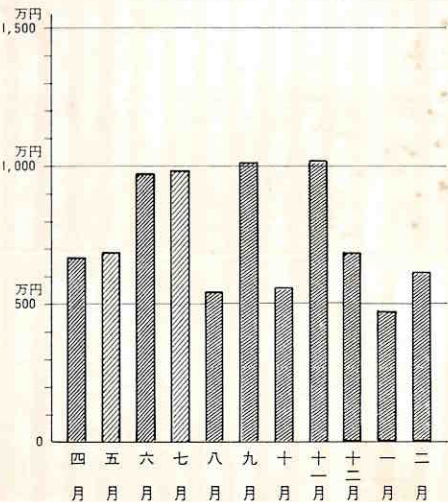
議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

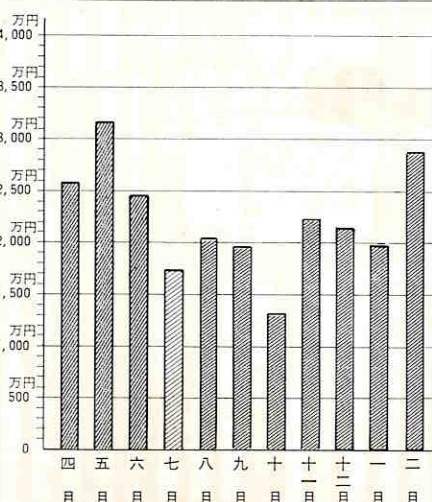
議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り

議 決
二月二十日 正副部長会議(青年部会増強)について
①三月事業について
左の通り決定。
イ、定例経営サロン
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 情報交換、その他
口、月例研究会
日時 三月三日(水)午後六時
テーマ 「戦後日本が得たもの失ったもの」
講師 評論家 高瀬 広居氏
②会費増強について
左の通り決定。
イ、三月、五月の三月月間を会員増強月間とし、役員一人一人の新入会員を獲得すること。
ロ、出席の少ない会員に対し、正副部長が夫々担当して訪問すること。
二月二十日 幹事会(青年部会)
①三月事業について
右記正副部長会議の決定通り



昭和五十年度共同購入業務取扱高



昭和五十年度商業手形割引取扱高